

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス（証券コード：－）

### 【据置】

長期発行体格付  
格付の見通し

BBB+  
安定的

### ■格付事由

- (1) 埼玉、神奈川両県で事業展開する社会医療法人。急性期医療を担う東埼玉総合病院（埼玉県幸手市/173床）、海老名総合病院（神奈川県海老名市/479床）、ケアミックス型の座間総合病院（神奈川県座間市/352床）などを構える。2病院がある神奈川県・県央医療圏での存在感は大きく、19年には同医療圏の他の医療機関とともに地域医療連携推進法人「さがみメディカルパートナーズ」を結成した。また20年5月、海老名総合病院では本館とは別の場所にある東館に新型コロナ専用病棟を開設した。関連法人の静岡メディカルアライアンスは下田メディカルセンター（静岡県下田市/142床）の指定管理を受託する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け当法人施設の患者数は減少しているが、前年比の減少幅は足元縮小傾向にある。当法人が手掛ける3病院は地域に欠かせない機能を担い、強い集患力を有する。金融機関からの支援体制に問題はなく、環境変化に適切に対応できる組織体制も整備されている。21/3期の業績には下押し圧力が生じており、感染症の再拡大にも注意が必要だが、引き続き安定した事業基盤を保てるとJCRではみている。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 4月から6月までの新入院患者数や外来患者数は前年を下回るが、在院日数の伸長や診療単価の上昇が患者数の減少をある程度補っている。6月の3病院の患者数は前月に比べ増加しており、医業収益は前年同月を上回った。当法人は受療の先延ばしができない急性期の患者を中心に受け入れており、コロナ禍による集患への影響は限定的とみられる。もともと、利益面ではマイナスの影響が避けられない。当法人の収支改善策の展開とその成果、政府による医療界への支援策などを注視していく。
- (4) 座間総合病院は開業から4年が経過し、地域への浸透が図られるとともに、収支改善が進んでいる。コロナ禍の影響を除けば、事業の核となる3病院すべてが安定してキャッシュフローを創出できる状況になってきた。20年度診療報酬改定の本体改定率は0.55%のプラスとなり、新設された地域医療体制確保加算などが収入増につながっている。人材配置に見合う医業収益の確保に努める中、委託費を含む人件費比率は一定の範囲内でコントロールされている。
- (5) 海老名総合病院では老朽化への対応と診療スペースを広げる必要から今般新棟の建設に着手した。新棟の開業前後の期間損益の悪化と借入金の増加により、財務面の余裕度が低下する可能性がある点には注意を要する。ただ、新棟は医療圏で増加する急性期の医療需要に対応する上で不可欠な投資である。新棟の整備によって人材確保のさらなる進展や診療機能の強化、診療効率の改善が期待され、安定したキャッシュフローを確保できると考えられる。投資回収に懸念はないとJCRではみている。

（担当）千種 裕之・佐藤 洋介

### ■格付対象

発行体：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年7月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「医療機関の信用格付方法」(2010年9月6日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル